



校訓
人ふきは

題字 小關脩太郎（脩翠）書

川西中学校
令和3年度
学校だより
8月19日号
文責：校長 船木智幸

県・東北大会の結果を報告します

☆7月24日（土）と25日（日）に行われた山形県中学校総合体育大会の結果は次の通りです。出場した全ての選手の頑張りに大きな拍手を贈ると共に、会場の準備と運営に携わってくれた男女バスケットボール部員と男子ホッケー部員に感謝します。

【女子ホッケー部】 対高畠中 6-1 優勝(東北大会出場)

【陸上部】 女子1年100m 加藤美鈴 2位(東北大会出場)

男子共通走高跳 神尾快星 4位(東北大会出場)

男子共通走幅跳 山田侑希 7位

女子共通800m 荒木結心 7位

女子2年100m 横田理世 9位

女子4×100mリレー 加藤杏・横田理世・加藤美鈴・情野有香 9位

女子2・3年1500m 荒木結心 10位

男子共通400m 高橋英士 11位

男子1年100m 渡部裕稀 11位

男子4×100mリレー 高橋飛羽・高橋英士・皆川大地・山田侑希 11位

男子共通200m 高橋英士 12位

女子共通砲丸投 情野有香 13位

女子共通走高跳 寒河江希実 13位

男子共通110mH 安部善貴 14位

女子共通200m 横田理世 16位

女子2年100m 加藤杏 19位

男子共通800m 島貫篤樹 24位

男子低学年4×100mリレー伊藤奈央・神尾快星・渡部裕稀・齋藤志龍が会場

【卓球部】 男子個人戦 高橋昌也 ベスト16

金子稜平 2回戦惜敗

齋藤成悟 1回戦惜敗

男子団体戦 1回戦 対鶴岡二中 2-3 惜敗

女子個人戦 高橋采音 3回戦惜敗

【柔道部】 男子個人55kg級 高橋拳 1回戦惜敗

60kg級 高橋力 1回戦惜敗

81kg級 原昊太郎 1回戦惜敗

90kg級 梅津峻守 2回戦惜敗

90kg超級 猪股晟矢 2回戦惜敗

女子個人44kg級 安部文乃 3位

48kg級 船山美穂 2回戦惜敗

【水泳】 200m バタフライ 鈴木爽 8位

100m バタフライ 鈴木爽 13位

100m 平泳ぎ 嵐田美晴 16位

【ソフトボール部】 1回戦 対陵東中 8-1 勝ち

2回戦 対余目中 15-2 勝ち

準決勝 対山形九中 5-12 惜敗 3位

☆7月30日（金）から8月1日（日）まで、本町の人工芝コートで開催された東北中学生
ホッケー選手権大会の結果は男女共に決勝トーナメント初戦惜敗でした。

【男子ホッケー部 宮内中・米沢二中・米沢三中との合同チーム】

対 羽後中（秋田県） 6対2 勝利

対 沼宮内中（岩手県） 1対3 惜敗

対 築館中（宮城県） 2対0 勝利

対 棚倉中・塙中との合同チーム（福島県） 3対3（SO戦1対2） 惜敗

【女子ホッケー部 米沢三中・小国中との合同チーム】

対 川口中（岩手県） 0対1 惜敗

対 堀口中・三沢一中との合同チーム（青森県） 3対0 勝利

対 棚倉中（福島県） 2対2 引き分け

対 築館中・栗原西中との合同チーム（宮城県） 1対2 惜敗

☆7月31日（土）に山形市のやまぎん県民ホールで開催された「全日本吹奏楽コンクール
山形県大会」で吹奏楽部が銀賞を受賞しました。

☆8月8日（日）に秋田県営陸上競技場で行われた東北中学校
陸上競技大会は次の通りです。

共通男子走高跳 2年神尾快星 1M65 予選惜敗

1年女子100M 加藤美鈴 14秒07 予選惜敗

獅子踊りを披露しました

8月16日（月）に大光院で郷土芸能クラブが小松豊年獅子
踊りを披露しました。夏休みに獅子踊り会の皆様のご指導の
下、練習を重ねたすばらしい舞を披露することができました。

「桜の木の思い出」

今年の春は本校のグラウンド北側に咲く桜の木のそばで、生徒と共に写真を撮り、桜を愛で
ながら一句ひねり、お団子も味わうことができました。昨年は生徒がいない中での桜の開
花となったので、今年は桜の木も喜んで見えました。

この本校の桜の木に関わって、その成り立ちを知る機会をいただきました。今から36年
前の昭和60年、当時の川西中学校のPTA会長だった加藤清助様よりお手紙と貴重な資料
をいただきました。それによれば、当時の米沢工業高校の孫田昭一校長先生より本校に桜の
木30本と、もみじの木15本の寄贈のお申し出があり、米沢工業高校教護会川西支部顧問
金子勤先生はじめ全生徒と保護者、川西中のPTAの役員の方々と6月12日に植樹をし
たとのことでした。その桜が毎年私たちの目を楽しませてくれていることを知りました。ま
た、当時の校歌の一節にある「思い出の丘」を造るため殖産工務所様のご支援の下、全生徒
で植樹をし、5周年事業であづま屋が建てられたことがあとがきにありました。

このように生徒を健やかに育てようとする地域の方々の思いが引き継がれ、今の川西中学
校が存在していることをありがたく感じております。（本稿はPTA会報『ひらけゆく』に掲載
した文章です。後日、加藤清助様と殖産工務所様に持参しお礼を申し上げます。）

